

第1回 遺構と地域のこれからの語る会

日時：2018年10月22日（月）18時～20時

場所：門脇集会所（石巻市門脇町3丁目6-18 門脇東復興住宅）

対象：震災遺構・門脇地域について関心のある方



写真提供：矢口清志氏

多くの震災遺構が整備される東北沿岸一帯で、震災遺構のある地域の未来像を一人ひとりの市民が共有し、将来を見据えた地域づくりを行っていくために、皆で考え話し合う機会を設けて参ります。

初回となる今回は、広島から原爆資料館元館長の原田氏を迎え、原爆ドームの保存時の議論や世界遺産となるまでの経緯についてお話をいただき、参加者同士で門脇地区のこれからのに向けた意見交換を行います。

国営の追悼祈念施設が隣接する門脇地区は、たくさんの修学旅行生が訪れる場所になるでしょう。門脇小学校は無くなってしまったけれど、違う意味の学び舎としての役割が期待されているのではないのでしょうか。

門脇地区の住民でなくとも、震災遺構や震災伝承、および門脇地区についてご関心のある方であれば、どなたでも参加可能です。

遺構と地域のこれからの語られる場に、行政・メディアの方々もお越しいただければ幸いです。

<次第>

18：00 講演

広島平和記念資料館元館長
原田浩氏による講演
(原爆ドームの保存議論、
世界遺産登録の経緯等)



19：00 意見交換

遺構と地域のこれからのについて

共催：かどのわき町内会

公益社団法人みらいサポート石巻

後援：3.11メモリアルネットワーク